

議案 1 号議案 平成 28 年度一般会計予算 原案反対、市民社会ネット組み替え動議に賛成の立場で討論します。

一般会計の内、予算組み替え動議を出しました除去土壌等処分業務委託費と図書館指定管理者選定委員会報奨金等は賛成できません。

除去土壌等処分業務委託費は、現在、高瀬処理場で保管されている、福島第 1 原発事故によって、放射線量が 0,23 マイクロシーベルトを超えた市道の側溝、公園、河川、保育園などで行った表土の除去によって発生した土壌を、富津市、君津市の管理型最終処分場にて埋め立てするための予算です。

県内の 3 箇所にある民間の管理型最終処分場で放射性セシウムが微量ではあるが検出されていたことが県の測定でわかりました。最終処分場の住民は放射線汚染土壌の埋め立てに反対しており、同土壌は市内において保管すべきです。

図書館指定管理者選定委員会報奨金等は、中央・東・北図書館への指定管理者制度導入に向け、事業者の選定を行うための予算です。

図書館サービスは、情報に基づいた自立的に行動する市民を育てる、市民社会の担い手を育てるという公共性の高いサービスであること。無料で利潤を生まない図書館サービスの提供に株式会社が参入してくることが想定されていますが、会社が利潤を得ようとするれば、人件費の削減と図書の選書・購入によるしかないことを考えると図書館サービスに指定管理者制度を導入することは賛成できません。

また、手続きの問題で言えば、事前に議会や市民への説明、意見聴取が行われておらずあまりにも拙速すぎます。もう一度民主的な手続きを経た上で予算計上することを求めるものです。

これら以外の予算全体については反対するものではありません。特に

- ① 生活困窮者自立支援事業の学習支援事業について、2 箇所から 4 箇所に拡大したこと。
- ② 保育士の処遇改善・確保策として、国が定める公定価格に上乘せして市が補助している保育所運営補助金を月額、24,950 円から 31,980 円に改善したことや市内の保育所に勤務することを条件に就学貸付資金の全額免除などを行うこと。
- ③ 市民から要望の強かった人間ドック助成制度を導入したこと。
- ④ 駐輪場用地が確保できなかった北習志野駅前で、機械式地下駐輪場設置にむけた地下埋設物の調査予算が計上されたこと。
- ⑤ ゲリラ豪雨によって氾濫する二和川、木戸川、駒込川の改修、水害対策を促進するための予算が計上されていること。
- ⑥ 障害者就労支援事業を拡充したことなどは評価するものです。

海老川上流地のまちづくり及び医療センターの建て替えですが、スプロール化が進む海老川上流地区、これまで、挫折してきた組合施工の区画整理事業について、市がこの地区を自然との調和を図りながら、医療体制の更なる充実を図るため、市立医療センターを移設し、医療・福祉機能をまちの中核とするメデカルタウン構想という新たな方向性を示し、地権者との話し合いを進めていくという大きな方向性については概ね理解できるものです。

しかし、地盤の弱い地域で大震災に備えた地盤の強化（液状化対策）や水害に備えた海老川調整池事業の進捗との整合性、地権者と合意、財源の確保など課題が山積しています。

今後 10 年単位となるこの事業については、議会に十分な情報を提供し、また意見交換をしながら事業を進めていただきたいと思います。

飯山満区画整理事業の見直しですが、施工面積は縮小されましたが、市の負担金はバブル期の平成 4 年策定の計画に比べ 26 億円から 65 億円に増えることになりました。

しかし、都市計画道路や飯山満川改修などの公共施設の整備、飯山満駅を中心としたまちづくりは必要なものと考えます。事業の促進を求めるものです。

地域包括ケアシステムの構築については、各地域福祉圏の医療・介護・住まいなどの資源の現状の実態調査を行い数値目標を定めた計画を策定すること。

市内の中核病院で、自ら医療・介護・住まいの資源を持ち、地域包括ケアシステムと同様なシステムを構築し実践している医療機関との連携を図ること。

地域包括ケアシステムが市民から見ても分かるような情報を提供することを求めます。

特別養護老人ホームについては、市が第 6 次介護事業計画でいうところの施設入所の必要性の高い高齢者の待機が解消されるよう引き続き施設整備を行うことを求めます。

待機児童は、今年度の 4 月 1 日現在で 1,067 人でしたが、新年度はこれよりかなり少ない見込みであることや、28 年度は 1,173 人の定員増を図る予算が計上されましたがこれを持ってしても待機児童「ゼロ」になるとの明確な答弁はありませんでした。

待機児童「ゼロ」実現するために、認可保育所の建設などの施設整備、市立保育園で定員割れが生じないよう保育士の確保、民間保育園での保育士確保のために待遇改善を図る保育所運営補助金の増額、臨時保母の非常勤一般職員化や賃金の引き上げなどの待遇の改善を図ることを求めます。

児童相談所の設置について、市長の市政執行方針では触れられていませんでしたが、国が中核市と 23 区に対して、設置にむけた施設整備費や人件費などの財政支援、専門的な人材育成するための支援などを行うという、新たな方針を決めたことを踏まえ、設置にむけて積極的に検討を開始することを求めます。

ふなばし三番瀬環境学習館は、三番瀬に生息する多様な生物や東京湾漁業の歴史、三番瀬が果たしている東京湾の水質浄化機能などを市民が学ぶことによって、三番瀬保存の必要性やラムサール条約登録への機運が高まるような施設することを求めます。そのためには運営や展示などに当たっては専門家や自然環境保護団体の意見が反映されるような仕組みを作っていただくことを要望します。

市民の憩いの場となり、防災面からも重要な都市公園の整備促進を図ること。大穴近隣公園は、遺跡公園として整備し、木戸川遊歩道、大穴斜面緑地などとの連結を図り、市民が自然とのふれあいや健康維持のためのゾーンとして整備することを要望します。

5年連続で公共工事の労務単価が引き上げられましたが、公共工事では、重層的な下請構造が多く、最下部層で現場作業に従事する労働者は、低賃金で就労を余儀なくされています。こうした労働者の賃金水準を引き上げ、公共工事や公共サービスの質を確保するために公契約条例の制定について検討すること。また、非正規職員の待遇改善についてもいっそう務めることを求めます。

その他

都市計画道路宮本古和釜線などの整備促進を図るとともに、通学路の安全確保、生活に密着した道路や歩道の整備、生活道路の安全を確保するためゾーン30の整備を進めること。

住宅政策については、子育て世帯、高齢者、障害者、低所得者、災害被災者など政策的に必要な市営住宅を確保し、子育て支援世帯への家賃助成制度などを検討すること。

公務支援システムは教員が、仕事を自宅に持ち帰ってやることを奨励することにならないようにすること。

老朽化した校舎の改修やトイレの改修は、耐震改修と同様の財政規模とスピード感をもって実施すること。

東部公民館は地元だけでなく立地場所からいって多くの市民が利用している公民館の一つです。駐車場、図書館的図書室、小ホールの整備を図ること。

取掛西貝塚をはじめ市内に、縄文時代の貴重な貝塚・遺跡が多数存在しています。開発行為によって海老が作貝塚が破損されたことを踏まえて、開発にさきがけてこれらの遺跡を保存すること。

救急車の救急搬送の時間短縮に取り組むこと、以上要望して討論とします。

議案第 2 号 平成 28 年度国民健康保険事業会計予算 賛成

28 年度から特定健康審査項目を追加したほか人間ドック助成事業を実施することは評価するものです。今後、脳疾患の発見・発症予防・早期治療に資する脳ドックを助成対象にすることや助成額を他市並みに増額することを要望します。

また、低所得者に対する保険料減免制度や高額医療費助成のいっそうの拡充。親の保険料滞納の結果「無保険」の子供が生じないように適切な対応を行なうよう要望して賛成討論とします。

議案第 3 号 平成 28 年度下水道事業特別会計予算 賛成

公共下水道事業は、市民の生活環境を改善する一方で、河川の枯渇や処理水などによって自然環境を破壊するという側面も持っています。処理水を上流部にポンプアップして河川に放水する方法などの検討や処理水によって東京湾の水質が悪化しないよう、処理水の第 3 次高度処理事業を進めることを要望して賛成討論とします。

議案第 4 号 平成 28 年度小型自動車競争事業特別会計予算 賛成

28 年 3 月をもって公営ギャンブルであるオートレース事業を廃止したことは評価するものです。しかし事業廃止によって、これまで市の財政に多大な寄与をしていただいた選手会や関係者の皆さんに辛い思いをさせたことについては、我々としてもしっかりと受けとめておく必要があると思います。

オートレース場の跡地活用については、市がしっかりと関わりを持ち船橋市のまちづくりに有効に活用されることを求めて賛成討論とします。

議案第 5 号 平成 28 年度南口市街地再開発事業特別会計予算 賛成

議案第 6 号 平成 28 年度介護保険事業特別会計予算 賛成

介護保険制度は様々な矛盾を抱えながら制度の変更が行われてきました。

今回の制度改正によって介護予防訪問介護・通所介護が、市が実施する地域支援事業、介護予防・日生活総合支援事業に段階的に移行することになりました、これによって、これまでの介護予防訪問介護・通所介護に比べサービス内容が低下したり、サービス自体が受けられなくなるのではないかとの懸念が出されています。そうしたことがないよう対象者に対するていねいな説明やその方にとって必要なサービスがきちんと行なわれるように対応していただくことを求めます。

また、認知症の方に対して初期集中支援チームによる総合的な支援を行うモデル事業は、地域包括ケアシステム構築の重要な施策として事業が推進されることを期待します。さらに認知症サポーター養成事業も拡大し実施することを要望して賛成討論とします。

議案第7号 平成28年度母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 賛成

ひとり親家庭の自立が図られているが、子供を抱えながら常用雇用を目指すのはさまざまな困難があります。自立支援事業が十分でない中、この貸付事業の持つ意味は、大きいものと評価し賛成します。

議案第8号 平成28年度後期高齢者医療事業特別会計予算 反対

後期高齢者医療制度は、医療費の増加を抑制するために75歳以上の高齢者を他の医療保険から切り離し、「保険料値上げ」か「医療内容の劣化」か、という選択を高齢者自身にせまるもので、その名称や高齢者を75才で線引きしたこと、保険料を年金から天引したこと、個人単位の保険にも係らず保険料は世帯収入で決めることなど、後期高齢者医療制度そのものに反対です。

保険料の普通徴収者の滞納が増大していることが言われていますが、保険料滞納による資格証明書の交付はおこなわないことを求めて反対討論とします。

議案第9号 平成28年度地方卸売市場事業会計予算 賛成

卸売市場は、平成26年4月より、地方卸売市場に転換しましたが、農業、漁業の盛んな船橋市として、市民に新鮮で安全で低廉な食料を供給し、市内小売業の活性化を図るために本事業は必要かつ重要なものです。

地方卸売市場へ転換に当たって、魅力とにぎわいのある卸売市場に再生、発展させるとしてはいますが、同時に食育の場としても機能させることや市民との触れ合いの機会を積極的につくることも重要であることを指摘して賛成討論とします。

議案第10号 平成28年度病院事業会計予算 賛成

医療センターが地域の中核医療機関として、救急医療、高度医療、緩和ケアなど質の高い医療を提供し、また市民の医療ニーズに応えるため診療科目を増やしてきたことなどを高く評価しています。

また、医療センターが、平成24年からの中期経営計画の中で「救急患者を断らない体制」をめざし、医師や看護婦の確保・育成、重度外傷センターの設立、ベットコントロールの強化を図ってきたことは評価しますが、なかなか実現に至っていません。

引き続き救急患者を断らない体制、特に第3次救急患者を断らない体制の確立に努力していただきたいと思います。

さらには、医療機能の拡充、患者から信頼される医師や看護師、職員の育成、働きやすい職場環境の改善に努めていただくことを要望して賛成討論とします。

議案第11号 平成27年度一般会計予算案 賛成

議案第12号 平成27年度国民健康保険事業会計補正予算 賛成

議案第13号 平成27年度下水道事業特別会計予算補正予算 賛成

議案第14号 平成27年度小型自動車競争事業特別会計予算 賛成

議案第15号 平成27年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 賛成